

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 平成24年度首都圏の主要渋滞箇所の特定結果

高速道路：91箇所、一般道：1499箇所(17エリア・224区間・507箇所)を特定

首都圏渋滞ボトルネック対策協議会では、渋滞関係データから渋滞が多発している箇所や特定日に混雑している箇所を抽出し、一般の皆様や民間事業者(トラック協会、バス協会、タクシー協会、観光協会等)、道路管理者(都県政令市・市町村)からご意見を伺ったうえで主要渋滞箇所を特定しましたのでお知らせします。

今後、主要渋滞箇所については、最新交通データ及び地域の交通状況を踏まえ、随時見直しを図っていきます。

■主要渋滞箇所※)

・高速道路:91箇所

・一般道路:1499箇所(17エリア※1・224区間※2・507箇所※3)

※)渋滞発生状況等を踏まえ、主要渋滞箇所を「エリア」「区間」「箇所」に分類

※1)エリア…都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

※2)区間…交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

※3)箇所…単独で主要渋滞箇所を形成

・表 首都圏の特定された主要渋滞箇所(1都3県)

【道路種別】	【区分・都県別】	【主要渋滞箇所数】
高速道路	首都圏中心部(外環内側)	30箇所
	首都圏(外環外側)	61箇所
合計		91箇所
一般道路	埼玉県	376箇所(4エリア(169箇所)・32区間(69箇所)・138箇所)
	千葉県	279箇所(4エリア(68箇所)・32区間(76箇所)・135箇所)
	東京都	433箇所(108区間(300箇所)・133箇所)
	神奈川県	411箇所(9エリア(221箇所)・52区間(89箇所)・101箇所)
合計		1499箇所(17エリア(458箇所)・224区間(534箇所)・507箇所)

※詳細(各都県毎)な位置図等は下記URLをご覧ください。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/road/shihon/jutai.html>

■主要渋滞箇所のうち早期に大きな効果が期待できる箇所について、道路管理者等が速やかに対策を検討。・東名高速(大和トンネル付近)・関越自動車道(花園IC付近)・京葉(幕張IC付近)等

■主要渋滞箇所のうち一般の皆様からのご意見を多数頂いている箇所について、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会のワーキンググループを設置し対策を検討。

・中央自動車道(小仏トンネル付近)等

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000023.html

※「平成24年度県別主要渋滞箇所の特定結果」は下記URLからご覧いただけます。

茨城県 http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/hitachi_00000135.html

栃木県 http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/utunomiya_00000107.html

群馬県 http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/takasaki_00000100.html

山梨県 http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/koufu_00000148.html

長野県 http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/nagano_00000122.html

2. 第32回川の写真コンクール協賛者を募集します。

官民一体となった河川愛護活動を推進

関東地方整備局 河川部

関東地方整備局では、河川愛護月間の一環として、河川愛護思想の普及と啓発をはかるため、関東地方整備局管内の小学生、中学生及び高校生を対象に、昭和56年より川の写真コンクールを開催しており、31回目を迎えた今年度は、約8000点の応募を頂いています。

河川愛護思想の普及は、河川の美化や防災意識の向上につながるものであり、河川管理を行う上で重要であると考えています。また、関東地方整備局では新たな河川管理手法として、民間の活力を活かし、官民のお互いのメリットを活かした効果的な河川管理を目指しています。

以上のことから、第32回目となる平成25年度の川の写真コンクールにおいて、河川愛護思想の普及を目的とした本コンクールの趣旨に賛同し、協賛していただける団体を募集します。

詳細につきましては、関東地方整備局ホームページをご参照ください。

※河川愛護月間とは、河川愛護の意識の醸成を目的とし、河川の安全で適切な利用、管理の促進や、良好な河川環境の保全・再生を推進するための活動等を行うもので、毎年7月に実施しているものです。

URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index.html>

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000064.html

3. 河川砂防技術研究開発公募の開始について

国土交通省は、平成25年1月8日(火)より、河川砂防技術研究開発公募における新規課題の公募を以下の分野で開始します。(募集〆切は2月1日(金))

- (1)河川技術分野 (2)水防災技術分野 (3)海岸技術分野 (4)地域課題分野(河川)
(5)地域課題分野(砂防) (6)地域課題分野(河川生態) (7)流域計画・流域管理課題分野

河川砂防技術研究開発公募は、水管理及び国土保全行政における技術政策課題を解決するため、産学のもつ先端的な技術を積極的に活用し、産学官連携による技術研究開発を促進することを目的として設けられた制度です。

各分野において、応募のあった課題については、有識者で構成される委員会において審査を実施し、採択の可否を決定致します。

※詳細は、国土交通省水管理・国土保全局のHP「河川砂防技術研究開発公募」

(<http://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/kenkyu.html>)に掲載しています。

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000087.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 平成24年度国土交通省関係補正予算の概要

平成24年度補正予算について、概算閣議決定されましたのでお知らせします。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000093.html

2. 平成25年度「道路ふれあい月間」の推進標語の募集

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集しますのでお知らせします。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、改めて道路の意義・重要性について考えていただくことを目的としています。

◇テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。
みんなが道路と親しみ、
ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇

平成25年3月31日（日）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔中学生の部〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔一般の部（高校生以上）〕 最優秀賞1作品、優秀賞2作品

◇応募方法◇

1人何作品でも応募できます。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000318.html

3. 「国土政策フォーラム南三陸町」

～命を守る安心・安全な新しいまちづくり「南三陸モデル」の発信～の開催について

国土政策に関して様々な観点から意見交換を行い、国土づくり、地域づくりへの地域住民の参加や、国と地方公共団体の相互の協力関係の促進、国土政策の一層の推進を図ることを目的に、宮城県南三陸町と共同で標題のフォーラムを下記の通り開催するのでお知らせします。

1. 日 時：平成25年2月14日（木）13:30～17:00

2. 場 所：南三陸ホテル観洋 コンベンションホール「羽衣」
宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17

3. 主 催：国土交通省・南三陸町

4. 開催概要：

○基調講演

演題 『地域で進める防災・減災対策 ～ 防災教育の展開 ～ 』

講師 東京大学地震研究所助教 大木 聖子 氏

○パネルディスカッション

テーマ 『これからの減災対策と合わせた新しいまちづくり』

・コーディネーター

パーソナリティ 本間 秋彦 氏

・パネリスト

長崎県南島原市長 藤原 米幸 氏

宮城大学副学長 大泉 一貫 氏

東京大学地震研究所助教 大木 聖子 氏

宮城県土木部次長 遠藤 信哉 氏

南三陸町長 佐藤 仁 氏

5. その他：入場無料（先着500名 事前申し込み必要（添付資料参照））

詳しくは、国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku03_hh_000051.html

4. 建設企業の連携によるフロンティア事業「新事業展開支援セミナー2013」の

開催について

国土交通省・一般財団法人建設業振興基金では、「建設企業の連携によるフロンティア事業※」により支援した連携体の事業成果を周知するため「新事業展開支援セミナー2013」を開催致しますのでお知らせします。同セミナーの日時・会場等は下記の通りです。

日 時：平成25年2月21日（木）13:30～17:15

場 所：THE GRAND HALL

（東京都港区港南 2-16-4 品川グランドセントラルタワー 3F）

参 加 料：無料

詳しくは、国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000331.html

◆◆地域の動き◆◆

日本橋地域を舞台とした地域のPRについて

～富山県南砺市からのチューリップ、愛知県田原市の菜の花の植え込み～

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所

◆はじめに

東京国道事務所は、東京都特別区内の国道1号、4号、6号、14号、15号、17号、20号、246号、254号、357号の10路線、約160kmの道路管理及び改築を実施しております。

管内においては、沿道の皆様のご協力による美化活動（ボランティア・サポート・プログラム）も多数行われており、その中で、新たな取り組みとして、地方との連携の取り組みを進め、この冬、富山県南砺市よりチューリップの球根、愛知県田原市より菜の花をご寄贈いただき、植え込みを行いましたので、そのご紹介をいたします。

◆日本橋地域の特徴

日本橋地域は、江戸時代より商業の中心として栄え、現代にまで、その伝統を引き継いだ老舗や歴史有る建造物が多数立地するとともに、新たな街造りに向け多くの再開発計画が進められているなど、伝統と先進の調和を目指す活気ある地域です。

また、地域の皆様による環境美化活動にもいち早く取り組み、平成14年度より社会実験による清掃、水やり等の活動を実施。平成16年度より、地元の方々などから成るNPO法人「はな街道」との間で協定を締結し、沿道環境の美化を10年にわたり進めていただいています。そのような取り組みにより、国土交通省道路局の「日本風景街道」にも全国128ルートの一つとして、登録されているところです。



はな街道の活動区間

◆一地方との連携ー日本橋での新たな試み

活動も10年を迎え、新たな活動の取り組みを検討していく中で、地域の特性である情報発信力を活かし、地方との連携を進めていくことの検討を進めて参りました。そして、日本橋と同じく日本風景街道の「合掌・さくら飛越街道」の推進母体である富山県南砺市との調整がまとまり、チューリップの球根950球が送られ、12月27日(木)にNPOの方々により植え込みが行われました。その様子は、各紙に取り上げられています。

また、同じく風景街道の「渥美半島菜の花浪漫街道」の推進母体である愛知県田原市より菜の花の苗50株が送られ、1月23日に田原市と日本橋の方々による苗の植え込みと、パンフレットと菜の花が道を行く方に配られました。

現地において、お送りいただいた自治体を紹介する掲示版を花壇に設置する予定で、また更なる広報方策について検討を進めているところです。



花壇内掲示版(案)

◆今後の展開

今後、より多くの地方の方々との連携を進め、地方の様々な情報発信を図るとともに、沿道美化活動の更なる活性化を図って行きたいと考えております。

本活動についてご興味のある方は下記までお問い合わせください。

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 調査課 調査課長 高橋
電話: 03-3512-9098